

## 叫び

### エジプトでのイスラエルの叫び

聖書において、「叫び」「叫ぶ」ということばは、信仰表現に用いられています。特に、出エジプト記にその特色が出ています。

エジプトの恩人であったヨセフのことを知らない新しい王が支配するようになり、イスラエルの人々に重労働を課して虐待しだすと、イスラエルの人々は奴隷の状態に置かれるようになりました。

『イスラエルの人々は労働のゆえにうめき、叫んだ。』

労働のゆえに助けを求める彼らの叫び声は神に届いた。神はその嘆きを聞き、アブラハム、イサク、ヤコブとの契約を思い起こされた。神はイスラエルの人々を顧み、御心に留められた。』

どんなときに叫びたくなるかを考えて、次の空白に書いて下さい。

## あきらめない心こころ

私たちは自分たちの置かれてある現状に対し

て、たとえ不満があるとしても、当り前だとか、し

かたないと思つて、すぐにあきらめてしまいます。

しかし、あきらめてしまうということは、現状を認

めてしまうことであつて、間違つた状態を正しい

方向に変えていくことはできません。

やはり、おかしいことはおかしいと叫ぶことが

大切です。すぐに現状が変わらないにしても、一人

でもおかしいと気づいた人が叫び続けることによ

つて、今までおかしいと気づかなかつた人が、一人  
でも、二人でも増える可能性が  
あります。現状を変  
える可能性があることを、いつも信じ続けることが  
大切です。

